

低学年 「自然・人との出会い」

○はじめに

生活科では「他者、社会、自然、環境と共に生きているという実感や達成感」が味わえます。ふるさと母子の自然や人々との出会いを通じた体験での気づきを、絵や文で表現しながら学習を進めてきました。

○校区探検

①「花のじゅうたん」見学 5月7日（火）

5月7日（火）に花のじゅうたんに行ってきました。10連休中、観光客でいっぱいだった花のじゅうたん。学校から花のじゅうたんまで、子どもたちと一っしょに歩いて向かいました。天候にも恵まれ、新緑がきれいな中を進んでいきました。たんぽぽの綿毛があったり、虫を見つけたり、いろいろなものに目をキラキラさせながらすすんでいきました。



全国でも数少ない芝桜庭園で、地面がまったく見えないほど芝桜が咲いています。その様子から「花のじゅうたん」と名付けられたそうです。咲き誇る花のじゅうたんの中で、子どもたちは思い思いにスケッチをしました。

②「茶畑」の見学 「お茶摘み体験」

10日（月）にお茶摘みにに行ってきました。「天候が心配だな」と思っていたのですが、1時間目に繰り上げて雨の降る前に行くことができました。一昨年度、お茶摘みでお世話になった政枝さんの畑におじゃまして、お茶摘みをさせていただきました。

以前にお茶摘みをした経験がある子ども、初めて経験する子どもなど様々でしたが、政枝さんの説明を聞いてうなずいていました。「一芯二葉」を合言葉に子どもたちは思い思いに考えながら、「これとっていい」とおたずねしていました。

お茶は6月の今が一番忙しい時期です。それにも関わらず、政枝さんは急なお願いでも、「子どもたちのために」快く引き受けてくださりました。本当にありがとうございました。



③「のらさんのパン屋さん」見学

7月8日（月）に「のらさんのパン屋さん」に行ってきました。パン屋さんの前につくと、とても香ばしいにおいがしてきました。早くも「おなかすいた。」「パンを食べてみたい」と声があがるほどでした。店内は木材を基調とした温かい雰囲気でした。



その中で目を見張ったのが、2mを超える大きな白い窯でした。店長さんがライトを照らしながら、窯にパンを入れる様子を見学させていただきました。後のふりかえりで、その大きな窯が一番心に残ったと書いてくれた子どももいました。

他にもパンにクリームやカレーを入れて作ることや、窯は時間をかけて徐々に熱くしていくこと、一日の仕事のスケジュールなど教えていただきました。

その後、みんなで出来立ての「ピザパン」も試食させていただきました。職人の腕が光る母子のパン屋さんでした。

④「永澤寺」の見学

12月13日（金）に永澤寺に行ってきました。冬の寒い時期でしたが、子どもたちは「ようたくじにいける」とワクワクした気持ちで一杯でした。副住職の渡邊さんに永澤寺の秘密を教えてくださいました。まずは、門のところの鬼について「悪い人が入ってこないように見張りをしているんだよ。」と聞くと、子どもたちは「だから怖い顔をしているんだ」とつぶやいていました。



お寺の中には仏像やお地蔵さん、雲の上のお寺のイメージした模様、玄武・白虎・青龍・朱雀の飾りなど、秘密がいっぱいでした。特別に大きな木魚をたたかさせていただきました。

2年生では、国語で「かさこじぞう」の学習をしています。また低学年の図工で「かさこじぞう」をかいています。本や絵で「かさこじぞう」を見ましたが、永澤寺にもあるということで見せていただきました。お寺の中にある6体のお地蔵様を見た後、お地蔵様の意味や「母子のことを見守っている」ことなど話をさせていただきました。お寺にある笠も見せていただき、イメージを持って「かさこじぞう」の絵を描き上げることができました。



○野菜を育てよう 収穫しよう

①「母子のトウモロコシ」

低学年は畑でトウモロコシを植えました。耕した畑に一本ずつ丁寧に苗を植えていきました。苗の根っこがすごく長くて、植える前に図工で「トウモロコシの苗」絵をかきました。根っこが長いのはそれだけ水分を多く吸い上げることを知りました。水やりを行いながらできるのを楽しみにしていました。

できたトウモロコシを収穫しましたが、粒がしわしわになっていました。後から地域の方に聞くと「十分に水を吸い上げなかったからかな」と言っていたので、水やりの大切さや、作物を育てることの難しさを学びました。それでも子どもたちは「次やる時は絶対失敗しないよ。」「じいじに聞いておいしいトウモロコシを作る」と意欲を見せてくれていました。

9月にトウモロコシの絵をかきました。実がいっぱい詰まったトウモロコシを画用紙いっぱい描きました。その後、トウモロコシのおいしい食べ方について家庭でインタビューを行いました。するとラップに包んで電子レンジで温める調理法が出てきました。みんなそのレシピにチャレンジし、おいしくトウモロコシをいただきました。



②「やきいも ていがくねん&ようちえん」

6月にサツマイモの苗を植え、11月に収穫をしました。「おいもはできているかな」「大きいもはあるかな」と楽しみにしていました。幼稚園さんと一緒に活動を行い、地域の方にも応援していただきました。いもほりをすると手ごろなサイズのサツマイモがごろごろ出てきます。ツルを辿って芋を傷つけないように丁寧に掘り進めていきます。そして、約100のサツマイモがとれました。

そして、とれたサツマイモをつかって地域の方や全校生、先生方に食べていただこうと「やきいもていがくねん&ようちえん」を企画しました。当日は「たくさんの方が来てくれるかな」「うまくやきいもができるかな」と不安な様子を見せていました。しかし、いつもお世話になっているすぐこ先生に教えていただきながら、サツマイモを切ったり、新聞紙やアルミに包んだりするなど、自分たちで出来ることをしました。

当日、百歳体操に来ていただいた地域の方々や保護者の方々においしい「やきいも」をふるまうことができました。「上手にできたね」「おいしいよ」と声をかけていただくたびに、子どもたちはにっこりしていました。

○地域の方に伝えよう！感謝しよう！

①「母子芸術の集い」～低学年の劇 スイミー～

11月23日（土）に「母子芸術の集い」を行いました。今年はできるだけ、学習に近いものがないということで、「スイミー」をしました。「スイミー」は1年生の国語の教材です。基本的な本文の台本は私の方で作りましたが、子どもたち自身がセリフを考え、ダンスの動きを考え、自分たちで作っていました。細かい動き以外は、私の出番がないくらい、自分たちで話し合いすすめていました。



低学年から自分たちで考え、失敗を重ねながら自分たちで作り上げることはとても大切なことです。積み上げることで自信につながり、大きな力と自信につながります。失敗をおそれず、「自分たちで作る」ことを大切にしていきたいです。

②「母子ふるさと感謝祭」

山の峰で「母子ふるさと感謝祭」を行いました。当日、地域の方や保護者の方、そして卒業生。たくさんの方に来ていただきました。子どもたちは多くの方に来ていただき、とても喜んでいました。同時に、「発表、だいじょうぶかな？」「うまくできるかな」と緊張していたようでした。

この日のために子どもたちは「交流タイム」や「感謝タイム」に向けて準備をしていました。生活科で調べたことをまとめたり、発表に向けて何度も練習を重ねたりしました。会場準備も子どもたちで行いました。当日たくさんの地域の方に来ていただきました。「ドキドキしたけれどうまく発表できた。」「何度も読む練習をしてよかった。」など、子どもたちにとって感謝を伝える最高の場になりました。地域の方に支えていただいた、「母子ふるさと感謝祭」となりました。



○おわりに

低学年の生活科では、子どもたちの周りにある自然や人々との出会いからでてくる疑問から学習を始めました。学習はそのような疑問から始めるとよりよい学習になります。学校だけでなく地域の方にお世話になり、地域の方とかわることでより深い学びへとつながっていきます。子どもたちはそんな学習をしたときにはとても満足し、笑顔いっぱいになります。子どもたちの学びを支えてくださる地域の皆様にはいつも感謝しております。これからもよろしくお願ひします。